

四季を彩る名所

市内には、季節ごとに色とりどりのお花が楽しめる名所がたくさんあり、それぞれの開花時期には、見事な景色を堪能し、四季を感じることができます。



花島菖蒲園 本町 (MAP 2-④)

川下りコース沿いにある花菖蒲園は川下りの見所のひとつで、5月下旬から6月上旬にかけて、数万株の花が咲きそろいます。その凛とした美しい花は、藤とともに柳川市の花にも選ばれています。



ひまわり園 橋本町 (MAP 1-②)

有明海に近い干拓地・橋本開の広大な土地を利用して、夏の柳川を飾る30万本の太陽のひまわりが植えられています。青い空と一面に広がる黄色のコントラスト、夜のライトアップの幻想的な風景など多彩な表情をみせるひまわりは、柳川の夏の新しい名所となっています。



中山の大藤 三橋町中山 (MAP 1-⑦)

中山の藤は、江戸時代に地元の酒屋の「萬さん」が大阪の野田のフジの種を持ち帰り植えたといわれているもので、地元の保存会の人たちの手で大切に育てられ、昭和52(1977)年には福岡県の天然記念物にも指定された名木です。藤は柳川市の花にも選ばれており、市内を代表する名所となっています。毎年4月の開花時期には大藤まつりが開催され、多くの観光客で賑わいます。



梅の木街道 セツ家 (MAP 1-②)

セツ家の通称「梅の木街道」は、延々と続く梅の木の数に圧倒されます。春になるときれいな花を咲かせて見る者を和ませ、干拓地の歴史に思いを馳せることもできるところです。地元ではウォーキングコース、マラソンコースとしても親しまれています。



弁天の桜並木 大和町血垣開 (MAP 1-⑥)

大和町血垣開の弁天にある桜並木は、この地の干拓の歴史を後世に伝える干拓堤防沿いにあります。麦の青さと桜の花のコントラストが水面に映える春の開花シーズンの景観は絶景です。

